

みなさんこんにちは！日本大学商学部岸本ゼミナールのチーム「こんぺいとう」です！
第2回目の記事の内容をカラーでお届けします、どうぞご覧ください！

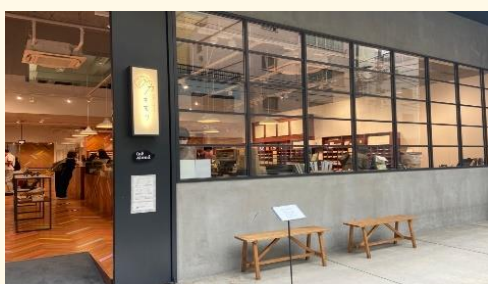
「買いたい」から「行きたい」へ 心揺さぶるショップ巡り #2

日本大学商学部岸本ゼミナール
こんぺいとう

みなさん、こんにちは！チームこんぺいとうです！

前回の記事では「雰囲気や空間作りを重視し、訪れることによって感動や幸せ
を与えてくれるようなお店」が魅力的であると考えました！

そのテーマにもとづいて最初に訪れたお店はこちらです！



アクセス

〒111-0055 東京都台東区三筋 1-6-2 1F

最寄駅：浅草線 蔵前駅

A3 出口徒歩 8 分

JR 浅草橋駅 西口徒歩 10 分

「カキモリ」さんは、オーダーノートやオーダーインクの
サービスを行っている「**体験型**」の文具店です。

「カキモリ」名前の由来

「**書人**」と書いて「**カキモリ**」。

書く機会が減ってきている現代で、書く文化を残したい、
広げたいという気持ちがあり、書くことの楽しさを思い出
してもらいたい、書くことの大切さに気づいてもらいたい
という想いが込められています。その想いが「たのしく、
書く人。」というコンセプトにも表れています。



取材に応じていただいた
岡本さん（左）

人とのつながりを大切
にされている想いが、
接客や店内の雰囲気に
表れていました。温か
みのある空間で居心地
が良かったです！

つながりを大切に

カキモリさんは商品を売ることよりも、書くきっかけを提供したり、
体験を楽しんでもらうことを重視しています。その際に、お客様とコミュ
ニケーションをとることで、**新たなつながり**を作り出しています。

また、カキモリさんは職人の方とも**強いつながり**を持っています。誰が
どんな技術を用いて商品を作っているのかは、商品を手にとっただけで
はわかりません。そのため、お客様には商品の販売だけでなく、商品が
出来上がるまでの背景や、職人さんの想いも一緒にお伝えしているそう
です。近隣のお店とも仲が良く、蔵前の街全体を盛り上げていこうと蔵前駅
周辺のマップも無料で配布されています。

「書く」ことの魅力

手書きの魅力は、「**想いがそのまま文字に表れること**」。書き
手の性格や気持ち、温度が感じられる手書きは、自分の心と文字
の間にある距離を縮めてくれます。情報伝達的手段としてデジタ
ルはとても便利ですが、一人一人の個性が表れる手書きだからこ
そ、伝わる想いというものもあるのではないのでしょうか。



2

階

inkstand by kakimori

ベースカラー
とガラスペン



<色のカケラ>

色を作る時のヒントになるように、スタッフの方々が集めた「**色のカケラ**」の標本棚というものもあります。人をイメージしたものや、曲をイメージしてつくられたものなどがあります。



色を創る際には思い出やモチーフなども手がかりになるのだとわかり、新しい発見でした！

2階はインクスタンドという、オーダーメイドでインクを作る事のできるワークショップとなっています。この空間では、好きな色を2〜3色選び、それらの色をスポットで垂らして混ぜ合わせながら自分だけの色を作っていきます。こちらの階はカラフルな1階とは違い、お客様の色を主役にする為に**無彩色な空間**となっています。

<inkstand POST>

また、オンラインでも手紙でインクをオーダーできる「**inkstand POST**」といったサービスがあります。手紙にはインクにしたい色の切れ端や写真、その色に対する思い入れなどの内容を記します。店舗に行けないという方も、手紙を書く機会が減った現代ではこのオーダーの仕方がひとつの特別な体験ですね。

スタッフの方も一人一人のお客様と手紙でやり取りをしているような気分になることができ、「始めてよかった」と感じられていました。



1

階

文具販売

1階はノートやペン、万年筆、レターセット、その他文具用品が販売されています。

こだわりがつまった空間

店内中央の工房は、お客様に見える形となっています。オーダーノートが作られる過程を見て、楽しんでもらえたらという想いから、このような設計になっているそうです。



万年筆・ペンの販売



↑手書きの紹介文！

一つずつ、その万年筆を使って商品紹介が書かれています。自分で試し書きをすることができ、用紙との相性も確認できるように多数の用紙が用意されています。

自分だけの 「オーダーノート」！

表紙や中の用紙、留め具などをすべて自分で選び、自分の好きを詰め込んだノートが作れます！選ぶ楽しさの提供、お店でしかできない体験を大切にされています。



商品を購入するだけでなく、体験サービスや製品の特徴が分かるPOPが添えられていたり、お客様を楽しませるような工夫をたくさんされていて、店舗でしかできない価値を重視されていることを実感しました。私達自身もオーダーノートを作成させていただき、取材をしながらもとても楽しませていただきました！

ここからは、第2回の記事で入りきらなかった写真をお届けします！

<オーダーノート>

こちらの棚から表紙・裏表紙、中の用紙、仕切の紙、留め具等を選びます。

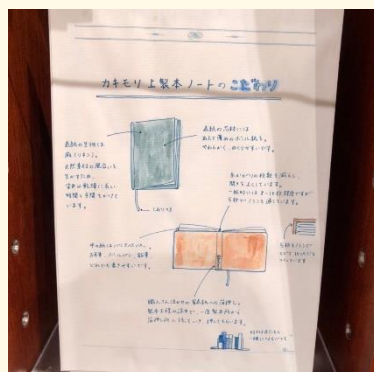


実際に私たちが選んでいる様子がこちらです↓



素材を選んでカウンターに行き、その他オプションを選んだら注文完了です！

<オーダーノート工房> こちらでノートが製本されます。



こちらが完成品になります！↓



<販売スペース>

1 階では文具の販売をされています。



万年筆・ペンの販売では、手書きの紹介文が添えられています。また、様々な種類の用紙が試し書き用として用意されています。

<inkstand>

2 階はオーダーメイドでインクを作る事ができるワークショップとなっていて、カラフルな 1 階とは違い、お客様の色を主役にする為に**無彩色な空間**となっています。





↑「色の標本棚」



↑インクの量り売り